● ね が い
★もぐもぐすくすく学校給食
★子どものよろこぶ学校給食

給食会だより

平成22年4月30日　第23号
（財）学校給食会
〒210-0004 川崎区宮本町6番地(安田ビル)
TEL　044(200)3298・3300
FAX　044(222)1442

平成22年度スタート

理事長の挨拶

今年度は、厳しい天候不順に見舞われたスタートとなりました。給食会のモットーであります「安全な食材の安定供給」をめざし,職員一層努力し取り組んで参りたいと思います。

文部科学省から出ている「食に関する指導の手引き」の第1次改訂版を見ますと,これまでの食生活の理解と健康増進に関する内容に加え自然への恩恵、環境保全への態度、伝統的な食文化といった内容が目に付きます。毎月開催されます給食主任会・栄養職員の会議でも、食育と生活科、社会科など教科の関連の実践報告が聞かれます。学校給食の存在が豊かな人間性を育む教育活動として位置づく重要性を更に深く感じています。

給食会としましてもその役割を自覚し学校,教育委員会,納入業者と緊密な連携を図りながら,教育活動としての学校給食の意義を大切にしたいと思います。皆様方の一層のお力添えをお願いいたします。

第２３号発行によせて・お知らせ

（財）川崎市学校給食会発行の「給食会だより」も発行４年目になりました。給食会では、組織強化に向けて理事長、事務長が常勤化となり、2年目を迎えました。4月14日の評議員会に於いて22年度の理事が承認され、23日の理事会に於いて新理事の構成も決定致しました。

今年度も給食会の取り組みや物資等の情報を、できるだけ多く提供していきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

なお、ご意見ご感想等ございましたら、お寄せいただきたいと思います。

（財）川崎市学校給食会22年度役員

理 事 長	藤田　　力	学校給食会理事
副理事長	渡邊　直美	教育委員会学校教育部長
専務理事	村上　　寛	麻生小学校長
専務理事	牧田　好央	学校給食会事務長
常務理事	一色恵津子	向小学校長
常務理事	直井　純一	長尾小学校長
常務理事	山本　妙子	県立保健福祉大学助教授
常務理事	佐藤　未来	川崎市PTA協議会役員
理　　事	吉田　　勲	東小田小学校長
〃	森岡　丈雄	古市場小学校長
〃	小島　由枝	御幸小学校長
〃	伊藤麿理子	中原小学校長
〃	中川　久資	大谷戸小学校長
〃	小林　茂登	西梶ヶ谷小学校長
〃	須田　昭雄	高津小学校長
〃	原　　伸子	白幡台小学校長
〃	鈴木真優美	鷺沼小学校長
〃	長谷川　淳	東生田小学校長
〃	中居　俊介	百合丘小学校長
〃	輿水　邦夫	柿生小学校長
〃	飯浜　美砂	川崎市PTA協議会役員
〃	小林由美子	川崎市PTA協議会役員

監　　事	朝岡　寛彰	公認会計士
〃	新村富喜子	土橋小学校長
〃	姉川和気士	虹ヶ丘小学校長

良質で安全安心な食材を安定供給いたします。

● 願い
★もぐもぐすくすく学校給食会
★子どものよろこぶ学校給食会

給食会だより

平成22年9月1日　第24号
（財）川崎市学校給食会
〒210－0004　川崎市宮本町6番地（安田ビル）
TEL　044（200）3298・3300　FAX　044（222）1442

食肉加工工場の視察実施

年間の豚肉の使用量は231トン（平成21年度）にもなります。
より安全・安心のできる品質の確保、納品基準規格、配送手順の実態を給食会全職員で視察しました。

協力会社 ・ムサシノミート青梅工場・・・・　8月2日
・寿ハム相模原工場・・・・・・・・　8月3日
協力業者 ・大協食品
・黒光商事

●時計、ネックレス、指輪の禁止持込禁止
異物混入防止の完全装備
消毒、くつの履き替え、入室チェック

●川崎特注の切り方に対応
5センチ、3センチ切りは手作業

●低温倉庫の豚
青の検印インクの状況把握

大人都市学校給食連絡協議会に参加都市学校給食連絡協議会に参加

7月16日（金）　新潟市生涯学習センター

給食会分科会には理事長、事務長が、保健安全部会には小林担当部長、管理運営に熊谷担当課長給食指導衛生に小田担当係長が参加。

●給食会分科会では
・野菜の単価設定
・給食会の経営改善計画
・地産地消の取り組み
・公益法人移行の状況
・給食物資の交換手順
・食肉（牛）の規格購入
等について話し合われました。

●手作業の手順と配慮することを実技作業で確認。

各工場担当責任者のコメントから

・異物混入は会社の致命的失態
・学校給食に提供できることへの自負
・川崎市の食数規模の魅力
・安心のできる加工と迅速な配送

9月分見積・入札・サンプル採点品数

① 月入札・・・・・・・・・・うずら卵水煮ほか6点
② 9月～12月単位購入入札・・・・プロセスチーズほか27点
③ サンプル採点・・・・・・・上豚肉ほか27点
④ 9月～12月単位購入サンプル採点・・・・・ベーコンほか14点
【8月10日（火）：物資選定委員会：中原市民館で開催】

8月の給食会の主な業務

2日（月）・工場視察（ムサシノミート青梅工場）
3日（火）・工場視察（寿ハム相模原工場）
4日（水）・9月分入札見積（安田ビル4F）
10日（火）・物資選定委員会（中原市民館）
20日（金）・発注書渡（給食会事務局）
23日（月）・献立決定委員会（中原市民館）
27日（金）・10月分規格書渡（給食会事務局）

残暑お見舞い申し上げます

―給食会職員一同―

● 願い
★もぐもぐすくすく学校給食
★子どものよろこぶ学校給食

給食会だより

平成22年10月1日　第25号

（財）川崎市学校給食会
〒210－0004　川崎市宮本町6番地（安田ビル）
TEL　044（200）3298・3300　FAX　044（222）1442

献立決定委員会　委員長　直井純一校長

食の喜びを味わう献立を

熊谷担当課長の挨拶

新献立の試食

献立決定委員会は、毎月1回（6月を除く）開催しています。
学校給食会をはじめ、各地区より学校栄養職員・給食主任が2名・給食調理員さんが各一名ずつ参加し、さらには市P代表と理事（校長会より）とで献立の原案について検討しております。
毎日の献立原案には、事前に栄養職員の皆さん方がエネルギーなど様々な栄養素について配慮された献立が提示され、さらには毎月1～2品の新しいメニューが提示されます。カレースパゲッティ、フランス南部の郷土食のラタトゥイユ、カブのすまし汁、アジのチーズフライなどです。
子ども達のおいしい給食になるように、皆さんが力をあわせて取り組んでいます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

見て、触れて、嗅いで、食して、会話して

楽しい給食の切符です

【献立決定委員会開始前チーフ、月担当者、翌月担当者による打ち合わせ】
◎市場の状況、物価状況の情報交換
◎献立の食材量・品質・納入方法等の確認

物資選定委員会　委員長　一色惠津子校長

より安全で安価な食材の提供を

毎月行われる物資選定委員会では、栄養職員と各地区代表の給食主任の皆さんが、翌月に使用される食材について、味や臭い、堅さ、添加物などあらゆる角度から検討し選定しています。
このような一人一人の委員さんの厳選されたしっかりとした目があるからこそ、安全で安心な給食がつくられるのだということを
この委員会を通して感じています。今後も安心で安全な食材を各学校にお届けするよう努めて参ります。

サンプルの厳正な検討

厳しいまなざし、するどいチェック

安心、安全の切符です

《　お知らせ　》
●11月11日（木）：物資選定委員会
◎11月18日（木）：献立決定委員会

いずれも会場は、中原市民館です

● 願い
★もぐもぐすくすく学校給食
★子どものよろこぶ学校給食

給食会だより

平成22年12月1日　第26号
（財）川崎市学校給食会
〒210－0004　川崎市宮本町6番地（安田ビル）
TEL 044（200）3298・3300　FAX 044（222）1442

学校納入物資の検査・確認開始

●規格基準書との照合・検査
●国産・輸入品の検査
●納入状態の確認
●サンプル品との比較検査

学校給食会では、川崎市第2次行財政改革プラン策定以降の新たな問題として「食品の安全性」について提示され、検討してまいりました。これまで給食会では食品の安全性について教育委員会の指導を受けながら、川崎市衛生研究所にての細菌検査、残留農薬検査等を実施してきたところですが、更なる安全性の確保のため「学校給食用物資規格基準書」に準じた物資が学校に納入されているかを含めた検査・確認業務を実施することとなりました。

栄養教諭・栄養職員の皆様、調理員の皆様には朝の検収・調理作業にお忙しいこととは存じますがご協力のほどよろしくお願いいたします。

○検査の手順・内容の確認

○納入サンプルの計測・温度・形態確認

○状態の記録・検討

○学校納入時まで管理保管

「いただきまーす」

王禅寺中央小学校に おじゃまして

9月30日（木）。この日の王禅寺中央小学校の献立は、「ミートポテトのチーズ焼き」「コーンソテー」食パンにみかんジャム、そして牛乳。渡辺安代校長先生・出張間際の杉本教頭先生・栄養教諭の加藤先生から給食物資の納入状況、食育等々のお話を伺いながら給食をいただきました。改築中の校舎の中　給食調理室はほぼ完成。調理開始に

腕がなる調理員さん。安全・安心な物資の提供に給食会もがんばります。「ごちそうさまでした。」

○12月10日（金）　物資選定委員会（午後2時～）
○12月17日（金）　献立決定委員会（午後2時30分～）

お知らせ

第61回全国学校給食研究協議大会
香川大会に参加

平成22年11月11日（木）、12日（金）の両日、高松市『サンポート高松』を会場に第61回全国学校給食研究協議大会が開催されました。川崎市給食会からは理事長が参加し、教育委員会からは北村健康教育課長補佐、栄養研究会から白幡台小の光眞先生、田島養護の佐藤先生、川崎高校の長嶺教頭先生が参加されました。

【表彰・文科省説明全体会場】
○サンポート高松大ホール

【第10分科会横浜提案】
○サンポート高松第2小ホール

1日目の文部科学省の説明は、「学校給食の役割と食育の推進」について、実践発表は宇多津小学校の3名が家庭・地域をつなぐ食育について学校給食を中心にされました。特別講演では、2名の女子大生（将来の栄養士）を助手にして 広島大学の加藤秀夫教授による実験を交えながらの健康を科学するユニークなお話がありました。コラーゲン豊富な食材、お肌つるつるの食材クイズは完敗 2日目の分科会は、第10分科会の「安全かつ安心な食材の選定」に参加しました。横浜市学校給食会の須田清子主査による「アレルギー物資の事前検査」や「神奈川県給食会とのかかわり」など、今後の川崎市の学校給食のあり方の参考になる提案がありました。

会場では日頃お世話になっている県給食会の安田常務理事、京都市給食協会の藤本理事長等にお会いでき、公益法人関係の情報交換等有意義な場がもたれました。 第62回の開催地は広島県とのことです。地域のローカル性と全国のグローバルの接点の大切さを今後も川崎の学校給食会に活かしていきたいものです。

ぐすくすく学校給食
★子どものよろこぶ学校給食

給食会だより

平成22年12月7日　第27号

（財）川崎市学校給食会
〒210－0004　川崎市宮本町6番地（安田ビル）
TEL　044（200）3298・3300　FAX　044（222）1442

食育推進コンテスト

PTA連絡協議会

給食会理事長賞の表彰

○田島養護学校：水井夏菜さんほか７名
○久　本小学校：望月美海さん

川崎市PTA連絡協議会主催の『食育コンテスト』表彰式が12月18日エポック中原にて開催されます。これに先立ち、11月8日に教育文化会館にて審査会が行われ、17の個人および団体が選ばれました。

給食会では学校給食との関連の視点で藤田理事長と牧田事務長が審査にあたりました。栄養を考えたり、色合いを考えたり、おいしいそうなお弁当が162点が出品されましが給食会では上記の2点を選ばせていただきました。

力作ぞろいのお弁当の中から食への関心度、学校給食の献立内容を参考に田島養護学校の水井さん他7名の共同作品「8K　弁当」と久本小学校2年生望月美海さんの「親子で克服まんぷくべんとう」を選ばせてもらいました。「8K弁当」はきのこソテー、かぼちゃの煮つけ、から揚げ等々8品すべての頭文字のKにこだわったユニークさやお弁当作りがモチベーションを生み遠足や他の計画にも活かすことができたようです。「親子で克服！まんぷく弁当では、嫌いなピーマンを克服するため自分から「これなら食べられるかも・・・・」と調理に挑戦したこと、またきんぴらごぼうは学校給食の味付けを試みたようです。

○『力作ぞろいですね』『色合いもいいですね』

○審査の基準、賞の内容の打ち合わせ

給食主任及び学校栄養職員会

普及奨励の窓口に

毎月開催されます各地区の給食主任及び栄養職員の会に参加させていただいております。給食会の地区担当者、事務長、理事長が順番にに出席し、給食会からのお願い、物資の市場状況の情報等を提供させていただいております。

写真は麻生区での様子です。新献立の実施日の子どもたち様子、実施後の献立反省、次月の献立説明、日々の給食指導の様子等々がきめ細かく話されました。このように毎月各学校の給食主任・栄養職員が話し合いの会をもっている都市は少ないと聞いています。

このようなことからも、給食会は川崎市の学校給食の普及奨励の立場でがんばっていきたいと思います。

○10月22日の麻生区給食主任及び学校栄養職員会

健康と食を考える集い

○11月25日（木）
○ミューザ川崎にて

京町小学校の食育を発表

神奈川県栄養士会川崎支部長の濱谷由美子さんからご案内を戴きました。参加した第1の理由は京町小学校の山崎里恵栄養教諭による発表を聴くことでした。20分の制限時間の中で、京町小学校での食育実践についてきめ細かく話されました。家庭科での実践、総合的学習の時間の活用、調理員さんとの交流等々、給食を通した学校生活での食育の重要性が参会者の方々に理解できたと思いました。

基調講演では、神奈川県立保健福祉大学の中村丁次先生のお話がありました。「生活習慣病の予防と治療」のお話でした。お話の結論としては「薬による治療より自然食品からの栄養素の摂取が大切」ということでしょうか。薬漬けの私は大反省といったところです。栄養の栄（榮）は木を燃やして火をおこし、養は羊を飼って食べ、食は人を良くするとのことです。毎月の献立担当の栄養士さんとの事前打ち合わせで、栄養価等丁寧に検討されていることをふと思い出しました。

山崎里恵先生、ごくろうさまでした。

お知らせ

1月13日「物資選定委員会」

1月23日「献立決定委員会」

● 願い
★もぐもぐすくすく学校給食
★子どものよろこぶ学校給食

給食会だより

平成22年12月20日　第28号
（財）川崎市学校給食会
〒210－0004　川崎市宮本町6番地（安田ビル
TEL　044(200)3298･3300　FAX　044(222)1442

月契約5品目：学期契約25品目決定

3学期及び1月使用物資の見積・入札
年間計画購入物資・・冷凍ホールコーン

12月3日（金）　教育委員会4階第1会議室にて見積・入札が開催されました。今回は「入札見積」の概要についてお知らせします。

前月の献立決定委員会で決定した献立により使用する物資について提携業者(16社)へ「見積・見本提出指示書」を送付します。指示書の内容は、①1品目1枚に記入　②賞味期限の記入　③内容配合表、栄養分析表の提出　④見積もり金額（消費税別）等の注意事項のほか、学校別給食人員数、規格基準内容、1月献立表、品名別使用日一覧表等となっております。 当日業者は定刻になり次第入札箱に見積書を投函します。公開の場で事務長が見積書の開札を行い、給食会職員が品目ごとに整理します。事務長が確認し、係より結果を報告し終了となります。
また、サンプル採点の品目については、12月10日の物資選定委員会の場で1点・2点・3点の投票により25品目が決定しました。

○サンプル札の品目仕分

○見積札の品目仕分

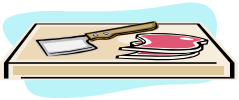
食育推進コンテスト表彰式

平成２２年１２月１８日（土）
エポック中原

川崎市PTA連絡協議会主催の「食育推進コンテスト表彰式」が開催され、藤田理事長、牧田事務長が出席し、給食会たより27号で紹介した望月美海さん（久本小）と水井夏菜さんと細萱このみさん（田島養護）に給食会理事長賞をお渡ししました。

表彰状を受け取る3人の顔はいづれも満面の笑みが印象的でした。

給食用物資検査・確認業務の状況調査を実施



下沼部小学校にて

12月より納入物資3品目について各地区2校抽出し給食用物資の検査・確認業務を開始しました。食品検査専門業者に委託しましたが、給食会としても検査状況把握のため、横井栄養士さんの協力を得て12月9日（木）下沼部小学校の状況を視察しました。早朝より、教頭先生はじめ、横井先生、用務員さんありがとうございました。また、秋場校長先生もかけつけていただきお話を伺えました。

【検査・確認作業の様子】

○給食物資の納入・調理員さんによって検収作業

○表示の確認

○上豚肉の梱包状態の確認
○納入時の温度、風袋の検査
○500グラムの抜き取り

○ノギスでたて・よこ・厚みの測定

○色、臭い等の記録

○納入伝票の転記

●1月の検査品目はフィッシュサンドのさわらフライとポークカレーの上豚肉・豚肩肉の3品を予定しています。

お知らせ

◎一月の　物資選定委員会：１月１３日（木）
献立決定委員会：１月２０日（木）
◎　会場はいずれも中原市民館です

● 願い
★もぐもぐすくすく学校給食会
★子どものよろこぶ学校給食会

給食会だより

平成23年1月4日　第29号
（財）川崎市学校給食会
〒210－0004　川崎市宮本町6番地（安田ビル）
TEL　044（200）3298・3300　FAX　044（222）1442

本年もどうぞよろしくお願いいたします

不特定多数の利益のため

2011年の幕があけました。昨年は野菜の高騰や冷凍みかん・ホールコーンをはじめとする給食物資の在庫不足、鶏の減少による鶏卵の高値など、異常気象にかかわる物価の変動に悩まされた一年でありました。二酸化炭素の削減問題は国レベルの交渉とか大企業の排ガス規制などの努力目標程度の感覚でしたが、微妙な温度の変化が給食実施に直接影響する事態に改めて認識した次第です。公益財団法人の認可を申請する当会としましても「不特定かつ多数の者への利益の増進に寄与する」という立場から、安全・安心な食材の提供・食育の普及・新製品の展示会とともに食品製造工場や生産地等への視察・調査を通しながら、地球温暖化にかかわる環境問題の情報提供等について検討しなければならない状況と思っております。

（財）川崎市学校給食会が4Fに入っている
明治安田生命ビル：新春の風景

本年は給食会にとって、公益財団法人の申請に伴う変革の年といえます。定款の変更による理事会、評議員会の改正、公益事業の拡充、さらなる安心・安全な食材の提供、支払業務が円滑にできる給食費の徴収等々の課題が山積し、給食会事務局一丸となって取り組んでいるところです。

本年も昨年同様に、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

給食費滞納減少をめざし学校支援に努めます。	クレームが発生しないよう業者を指導します。	栄養士さんと連携し物資の提供に努めます。	北部市場の情報を得、野菜の安定供給に努めます。	毎月末の送金書の提出をお忘れなく。	日別一覧表の確認をお願いします。	行事の変更、人員変更の連絡速やかに。	誤発注をされないよう、よろしく。

山本妙子教授「食育」の講演
■給食会常務理事■

“食を通じて育てたいチカラ”

昨年12月にPTA連絡協議会主催の食育推進コンテストが開催されました。前号でもお知らせしましたが、本会からは藤田理事長と牧田事務長が参加しました。「我が家のお弁当自慢」の受賞者表彰のあと、本会の常務理事であり、神奈川県立保健福祉大学大学院教授であります山本妙子教授の講演がありました。日本国民の食に対する変化（身勝手）から、法律（食育基本法）で食の重要性を示さざる得なくなった現状、川崎市立学校栄養研究会朝食の喫食調査、海外の研究者の調査内容と食の比較、さらには先生ご自身の子育て体験記を交えながらお話しくださいました。出席されたお母様の多くが、ご家庭の食事の改善を深く感じている表情が印象的でした。もちろん、我が家も同様です。

● 願い
★もぐもぐすくすく学校給食会
★子どものよろこぶ学校給食会

給食会だより

平成23年2月1日　第30号
（財）川崎市学校給食会
〒210－0004　川崎市宮本町6番地（安田ビル）
TEL　044（200）3298・3300　FAX　044（222）1442

一月川崎区給

奈良茶飯研修会

2月の献立に「なら茶めし」が登場します。
A地区が1日、B地区が9日、C地区は4日に実施されます。
これに先立ち、1月11日に開催した川崎区ではかわさき歴史ガイド協会の松本さん他2名をお招きし「奈良茶飯」研修会を行いました。中村さんから「かわさき歴史ガイド協会」の活動内容の説明のあと、この研修会のためにつくってくださった本物の「奈良茶飯」？をいただきながら意見交換がなされました。緑茶の香りと大豆、クリ入りの奈良茶飯に当時の雰囲気を味わいました。2月1日には川崎区長が東小田小学校にて子どもたちと「なら茶めし」の試食をされるそうです。その様子は次号で掲載の予定です。

川崎宿は三角おにぎりの発祥の地

時は江戸時代、8代将軍に就任するため江戸に向かう徳川吉宗一行が川崎宿に宿泊した際、田中本陣の休愚さんがおにぎりを提供し喜ばれた。以後、紀州の殿様が川崎宿に泊まるとき、葵の御紋の形に三角のおにぎりを3つ丸いお盆にのせて出したそうです。「御紋のむすび」と呼ばれ以後300年にわたって川崎の名物となり、このことから三角のおにぎりの発祥の地となったようです。

由来・エピソード

もともと奈良茶飯は奈良の東大寺や興福寺などで食されていた僧食で、どのようにして川崎に伝来したかは不明ですが、『東海道中膝栗毛』に登場する弥次さん喜多さんが川崎宿に立ち寄り奈良茶飯を食べたことで全国に広まったようです。

川崎市小学校給食教育研究協議会

強い骨をつくろう

1月19日（水）に平成22年度第35回の「学校給食教育研究協議会」が会館とどろきにて、特別活動研究会及び学校栄養研究会並びに給食会が主催となり開催されました。研究主題である「体と心の健康について自ら考え、進んで実践する子どもの育成をめざして」を

講師：独立行政法人国立健康・栄養研究所の
愛場直美氏も参加しての協議会

研究報告者：北脇澄子先生
（栄養研：稗原小学校）

カラフルに・興味をひく掲示コーナー
じっくり見入る一色校長先生

テーマに熱心に協議が行われました。提案者の稗原小学校の学校栄養職員北脇先生は、[強い骨をつくろう～食べ物編～]の実践報告を通してカルシウムを多く含む食品や継続して食べる大切さを訴えました。「コツコツ食べ物貯金」を全市にひろめたいものです。

お知らせ

第4回　給食会評議員会の開催
平成23年2月8日（火）：教育会館
〇給食会会計補正予算について
〇23年度事業計画について
〇公益財団法人移行について

お願い

2月使用の「県産切り干し大根」
〇三浦市農業協同組合の商品です
〇川崎の青果市場経由で
各八百屋さんから納入されます

23年度4月当初の給食予定人員の報告
〇2月7日（月）までにお願いします

● 願い
★もぐもぐすくすく学校給食会
★子どものよろこぶ学校給食会

給食会だより

平成23年2月7日　第31号
（財）川崎市学校給食会
〒210－0004　川崎市宮本町6番地（安田ビル）
TEL　044（200）3298・3300　FAX　044（222）1442

１月納入物資・さわらフライと豚肉を

【　梱包状態、再凍結、風袋等の確認　】

【　さわらフライの形状測定　】

【　　搬送状態の確認　　】

１月の給食物資検査・確認

	A地区	B地区	C地区
さわらフライ	大戸小	日吉小	向丘小
上豚・豚肩肉	京町小	稲田小	坂戸小

１月の検査・確認業務は左記の学校で実施しました。写真は大戸小学校の様子です
牧田事務長が納入時間に合わせ検査状況の視察を行いました。検査報告が上がり次第
その結果を受け内容により業者に指導を行います。

木村　実川崎区長　東小田小で「なら茶めし」

　2月1日（火）、川崎区長の木村実さんが東小田小学校を訪問し、1年1組の子どもたちと一緒に給食をいただきました。吉田勲校長先生から木村区長さんが紹介され、給食当番さんの元気な「いただきまぁーす」のあいさつで会食がはじまりました。区長さんのグループでは楽しい会話がいっぱい。「おじさん齢いくつーぅ」「58でぇーすぅ」「なら茶めしのこと知ってる」・・・・・おしゃべりが続きます。担任の寺尾明美先生の「おかわりする人は・・・・」の声にすぐ反応しおかわりの行列ができました。教室のスピーカーから栄養士の福山恵美子先生の声が流れました。「なら茶めし」の言われ、作り方、川崎の宿場などについて話され、教室の子どもたちは真剣に耳を傾けていました。
　校長室に戻られた区長さんと校長先生、地域の方、放送を終えた福山先生もお出でになり　今と昔の給食の比較、献立作成委員の工夫や熱意など、学校給食の話題に花が咲きました。まさに、学校給食は人生の生きた教材と思いました。

行儀よく校長先生のお話を聞く子どもたち

【「おいしいならちゃめし・おかわりどうぞ」と寺尾先生】

【16年ぶりに区役所職員も大満足】

【もぐもぐ・ぱくぱく木村区長さんもおいしくいただきました】

● 願い
★もぐもぐすくすく学校給食会
★子どものよろこぶ学校給食会

給食会だより

平成23年2月16日　第32号
（財）川崎市学校給食会
〒210－0004　川崎市宮本町6番地（安田ビル）
TEL　044（200）3298・3300　FAX　044（222）1442

第4回評議員会開催

2月8日（火）　川崎市教育会館

理事長挨拶概要

●21年度給食費の納入状況について
1，371，173円の入金があった。未納率は0．16%（全国は0．6%）。2月末から3月にかけて未納相談・未納者家庭訪問の実施予定。各学校の協力を願う。

●給食物資の検査・確認業務について
12月より開始した。A、B、C各地区2校ずつ実施している。より一層の物資の安全を確保していきたい。

●3月の入札について
全国に広がっている鳥インフルエンザの影響がでた。通常3業者の応札があるが、今回は1業者のみであった。10000キロの確保が難しい。価格への影響が心配。

●公益法人移行手続きについて
当初は22年12月末に申請予定であったが他県の給食会の情報により、再検討が必要と判断。民間企業にはできない事業を再考する。

熊谷担当課長挨拶概要

●給食調理業務委託について
日頃より、安心・安全な給食の実施に感謝申し上げる。
23年度に新規契約する学校が決定した。橘小、宮崎台小、麻生小、栗木台小学校である。手続きは順調に進んでいる。今後ともよろしく協力を願いたい。

●　給食費未納対応について
先ほどの理事長の挨拶にもあったが一層の協力を願いたい。23年度については、新たな組織体制を考え対処したいと考えている。

学校給食会評議員会について

委員の構成：給食実施校の校長99名をもって構成している。他の校長は理事、専務、常務、監事の任にあたっている。
開催回数：通常4月、7月、2月の3回であるが今年度は法人移行関係で臨時会を開催した。
開催時刻：全市校長会議日に合わせ開始時刻前に評議員会を設定している。
【写真は、評議員会閉会後、ただちに開催した校長会議の様子】

第4回評議員会議案

・5号議案　平成22年度給食会補正予算について
・6号議案　平成23年度事業計画について
・7号議案　最初の評議員選定委員会の選定委員について

いずれも
満場一致で
可決されました

昭和47年2月21日の献立

ソフトめん　カレー
しおもみ
ウインナーの衣揚げ
ミルク

川崎市民ミュージアムでは1月22日から4月3日まで「昔のくらし今のくらし」展を開催しています。その関連イベントとしての「再び学校給食がやってきた」に、当時の献立表を提供するなど給食会も協力しました。早速、藤崎小出身の新聞職員と京町小出身の牧田事務長が試食に伺いました。

なつかしい味ですね。
こどもの頃を思いだします。
ソフトめんは好物でした。

撮影中の牧田事務長
「私は給食で育ったようなものですよ。
特にカレーとソフトめんにお世話になりました。」

ソフトめんは昭和42年の献立表に登場しました。名称は「ソフトスパゲッティー正式麺」です。以来、平成16年10月まで提供されました。現在は自校献立で登場する学校もあるようです。

川崎市の学校給食会は昭和33年に発足しました。それまで、学校によって品質や価格が異なったり品物不足がおきていたためです。当時の苦労がひしひしと感じられた「昔のくらし今のくらし展」でした。

公益法人協会定例講座

財務・労務・経営・税・厚生・・・

このたびの公益財団法人移行申請に伴い、「公益法人協会」が主催している定例講座に当財団も出席しています。毎月開催される定例講座ですが、表題にもありますように、公益財団法人移行にかかわる財務関係、組織や職員の業務、公益事業にかかわる税制、福利厚生、訴訟、組合等々多岐にわたった講座です。それだけに会場は毎回400人を超える参加者でうまります。

この研修の成果を今後の学校給食会に生かしてまいります。

● 願い
★もぐもぐすくすく学校給食会
★子どものよろこぶ学校給食会

給食会だより

平成23年3月4日　第33号

〒210－0004　川崎市宮本町6番地（安田ビル）
TEL　044(200)3298･3300　FAX　044(222)1442

3月物資決定

品　名	決定業者
上豚肉	食肉組合
豚肩肉	食肉組合
ひき肉	食肉組合
しらす干し	石井商事
さわら角切り	黒光商事
いわしフィレ	野口食品
まぐろ缶	イセヤ
コロッケ	大協食品
大豆	黒光商事
干しシイタケ	黒光商事
パンプキンペースト	大協食品
こんぶ	黒光商事
りんごゼリー	横浜太平
ひなあられ	黒光商事
かんぴょう	イセヤ
ドレッシング	野口食品
みかん缶	横浜太平

物資納入状況の視察
≪久地小･鷺沼小≫

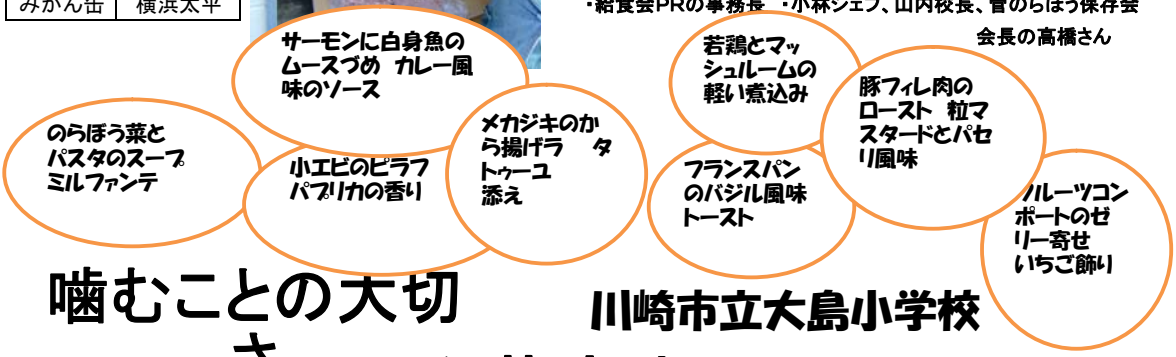
2月22･23日に早朝の物資納入状況を久地小と鷺沼小にて視察しました。豚肉、豆腐等指示通りの梱包、表示、風袋でした。検収作業も的確に行われ、安全への気配りが感じられました。

西菅レストラン

フランス料理フルコース

川崎市の最高峰の職人「かわさきマイスター」の小林誠一氏（ローズホテル横浜の総料理長）が地元の食材（のらぼう菜のスープ）とフランス料理の食育事業が行われました。学校給食会にも山内校長先生からご招待をいただき、理事長と牧田事務長が出席しました。図書室が高級レストランとなり和やかな会食となりました。

･給食会PRの事務長　･小林シェフ、山内校長、菅のらぼう保存会会長の高橋さん



噛むことの大切さ 使っています 発芽玄米

川崎市立大島小学校

発芽玄米の配合比率
精白米:発芽玄米＝7:1

日本発芽玄米協会発行のガイドブックに大島小学校での食育の取り組みが紹介されました。

川崎市の給食では「噛むことの大切さ」を教えるために統一献立に発芽玄米を取り入れています。大島小学校では、行政と栄養士と学校が一体となり、家庭科の研究にも大きな大きな成果上げていることが紹介されています。また、「川崎市の献立ができるまで」など、川崎市の学校栄養士の業務も紹介されています。「なら茶めし」の献立もこのような研究の成果から生まれたのですね。我が家でも発芽玄米を精白米に入れてみることにします。

切り干し大根の異物混入について

2月使用の切り干し大根について様々な異物が混入した件についてかながわ農林水産ブランド戦略課並びに三浦市農業協同組合より原因の説明を受けました。①風通しをよくするため干場用のビニルハウスの周囲のビニルを外したこと。②干し台に網戸用の網、よしず、竹籠を使用した。③組合、組合生産者の生産、出荷の配慮不足等々が原因のように思われます。今後、品質の向上に一層の努力を申し入れました。

給食会としましても、地産地消の観点から一層の安全な県産の給食物資の提供に努めたいと思います。

● 願い
★もぐもぐすくすく学校給食会
★子どものよろこぶ学校給食会

給食会だより

平成23年3月31日　第34号
（財）川崎市学校給食会
〒210－0004　川崎市宮本町6番地（安田ビル）

生きる力を培う学校給食

平成20年4月より当財団にお世話になり、この3月をもちまして退任となりました。この間、当給食に対しまして深いご理解とご協力をいただきまとに感謝申しあげます。

3月11日に発生しました東日本の大地震、これに伴う原発事故等々惨憺たる状況であります。過日、市内の小学校の卒業式にご招待いただきました。【物資選定委員会準備の理事長】校長先生の式辞、来賓のことばに被災された方々への思いが卒業生に伝えられました。真剣に聞き入る子どもたちの表情から命の尊さを受け止めたように思いました。

終戦直後、川崎市の学校では、栄養不良の子ども、身体虚弱の子どものためいち早く給食を始めました。時代の変遷とともに、子どもの嗜好、季節感、栄養価等々が栄養士さんの研究により、おいしい豊かな献立ができるようになりました。また、納入業者、メーカーにおいても安全、安心のできる物資の供給に務めてきました。そして、給食調理員さんの手でおいしく調理され教室へと運ばれます。給食会の業務として献立決定委員会、物資選定委員会等を通して学校給食の物資に係る面を担当してきました。この一連の給食ができる過程を改めて振り返ると、豊かな献立の今であっても、東日本の震災で炊き出しを食しなければならないことや戦後の食糧事情の厳しい時代と変わることなく「生きる力を培う学校給食を」基盤としていることの素晴らしさを感じています。

学校給食の益々の充実発展を祈念いたします。ありがとうございました。

第4回　理　事　会

平成22年度第4回理事会が、学校が春休みに入った3月28日（月）午前10時より教育会館で開催されました。

藤田理事長が挨拶の中で、東日本大震災のことにふれ、被災した方々へのお見舞いとお悔やみを述べ、併せて3月14日、15日、16日の給食中止についての物資の処理について説明しました。また、4月からの給食実施の見通しについては、計画停電の状況に合わせて、現在教育委員会で検討中であり、給食会ではその結果の基づいて対応していくことになる。との説明をしました。

第4回理事会議題

・平成22年度一般会計・物資会計補正予算
・平成23年度事業計画
・平成23年度一般会計・物資会計予算案
・寄付行為諸規程の改正

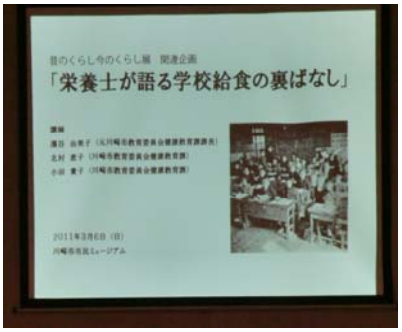
理事さんに慎重にご審議いただき、満場一致で全て承認されました。

第4回　理事会

研修会「栄養士が語る学校給食の裏ばなし」

市民ミュージアムガイダンスルーム・企画展示室
3月　6日　（土）

市民ミュージアムの「昔のくらし　今のくらし」の関連イベントとして、学校給食の歴史をたどるコーナーが企画されました．その一環として元健康教育課長の濱谷さんと北村担当課長さん、小田担当係長さんが講師として給食の歴史について語ってくれました。



講師　小田さん　濱谷さん　北村さん

昔の給食